

広島商船高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	数学 I B	
科目基礎情報							
科目番号	1911007			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	一般教科			対象学年	1		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	新基礎数学（大日本図書）、新基礎数学問題集（大日本図書）						
担当教員	川崎 雄貴						
到達目標							
(1) 順列・組合せの総数の求め方を理解し、それらを利用して様々な場合の数を求められる。 (2) 連立方程式・不等式の意味を理解し、1次の連立方程式・不等式が解ける。 (3) 数列の概念を理解し、いろいろな数列の計算ができる。 (4) 三角比の意味を理解し、三角形の辺の長さや面積の計算ができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	場合の数、順列、組合せの複雑な計算ができる。			場合の数、順列、組合せの基本的な計算ができる。		場合の数、順列、組合せの計算ができない。	
評価項目2	連立方程式・不等式の意味を理解し、3元連立1次方程式・1次不等式を解くことができる。			連立方程式・不等式の意味を理解し、基本的な3元連立1次方程式・1次不等式を解くことができる。		連立方程式・不等式の意味が理解できない。または、基本的な3元連立1次方程式・1次不等式を解くことができない。	
評価項目3	等差数列・等比数列・Σのやや複雑な計算ができる。漸化式の意味を理解している。			等差数列・等比数列・Σの基本的な計算ができる。漸化式の意味を理解している。		等差数列・等比数列の計算ができない。	
評価項目4	三角比の意味を理解し、三角形の辺の長さ、角の大きさ、面積の計算ができる。			三角比を用いた基本的な計算ができる。		三角比の値を求めることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	(1) 数学の科目を学び、自然現象を科学的に説明できるとともに、各学科の専門科目を理解できる能力を身につける授業を行う。 (2) 場合の数、数列の計算を解けることを目標とする。 (3) 連立方程式・不等式の性質を理解し、1次の連立方程式・不等式が解けることを目標とする。 (4) 三角比の意味と図形の計量を学ぶ。 (5) 中学校で学習した内容をさらに深め、2年次、3年次の数学、専門科目の学習に対応できるようにする。						
授業の進め方・方法	(1) 今後学ぶ数学や専門科目の基礎となる科目であるから、学習内容をしっかりと身に付ける必要がある。 (2) 学習内容の定着には、日々の予習復習が不可欠である。教科書・問題集などを活用して主体的に学習すること。 (3) 復習課題を出題するので必ず期限内に提出すること。 (4) 学習内容についてわからないことがあれば、積極的に質問すること。						
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	場合の数		積の法則と和の法則の違いを理解している。		
		2週	場合の数		順列の基本的な計算ができる。		
		3週	場合の数		順列、重複順列の問題が解ける。		
		4週	場合の数		組合せの基本的な計算ができる。		
		5週	場合の数		組合せの問題が解ける。		
		6週	場合の数		同じものを含む順列、円順列の問題が解ける。		
		7週	前期中間試験・答案返却・解説				
		8週	連立方程式		基本的な3元1次連立方程式を解くことができる。		
	2ndQ	9週	不等式		基本的な1次不等式を解くことができる。		
		10週	数列		数列の一般項が理解できる。		
		11週	数列		等差数列の一般項と和を求めることができる。		
		12週	数列		等比数列の一般項と和を求めることができる。		
		13週	数列		総和記号Σの意味が理解できる。		
		14週	数列		総和記号を用いた基本的な数列の和を計算することができる。		
		15週	数列		基本的な漸化式の問題が解ける。		
		16週	後期末試験・答案返却・解説				
後期	3rdQ	1週	三角比		三角比の値を求めることができる。		
		2週	三角比		三角比の値を求めることができる。		
		3週	三角比		三角比を利用した問題が解ける。		
		4週	三角比		鈍角の三角比の値を求めることができる。		
		5週	三角比		三角比の相互関係を理解できる。		
		6週	三角比		正弦定理を理解できる。		
		7週	三角比		余弦定理を理解できる。		
		8週	後期中間試験・答案返却・解説				
	4thQ	9週	三角比		正弦定理の応用問題が解ける。		
		10週	三角比		余弦定理の応用問題が解ける。		

		11週	三角比	三角形の面積を求めることができる。
		12週	三角比	一般角を理解している。
		13週	三角比	一般角の三角関数の値を求めることができる。
		14週	三角比	弧度法を理解し、角を弧度法で表現することができる。
		15週	三角比	弧度法で表された角の三角関数の値を求めることができる。
		16週	後期中間試験・答案返却・解説	

評価割合							
	試験	小テスト	課題	発表	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	10	20	0	0	0	100
基礎的能力	70	10	20	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0